



Higashimurayama City International Friendship Association

# 東村山市国際友好協会 第115号

## 広げよう 受け継ごう 交流の輪を！

### 姉妹都市提携40周年に当たって

東村山市国際友好協会会長 折笠 広樹



東村山市と米国ミズーリ州インディペンデンス市は1978年1月26日に姉妹都市の提携をいたしました。その後、その時々役員・委員のご努力、一般会員の皆様のご支援ご協力により今年40周年を迎えることとなりました。5年ごとの市民の交流やその間の学生の交流は市民に定着し、大きな成果を上げています。その他の活動を含め東村山市は当協会の活動に全面的に、継続したご支援を頂いています。また、財政面でご支援頂いている賛助会員の皆様に改めて感謝致します。

40周年にあたり、新たに実行委員会を立上げ、式典部会・市民受入部会・市民派遣部会・記念誌部会の4部会に、それぞれ役員が10名程度委員として加わる組織にしました。イ市民の受

入と記念式典、および東村山市の派遣の日程は既に決定し、現在はそれらの内容と合わせてスケジュールの詳細を検討しています。決定された事項は当協会のホームページもご覧ください。また、会計はH30年度に特別会計を立上げ、積立金を取り崩し収入とし40周年関係の支出を賄うこととします。

本年1月の役員会で40周年を象徴する標語を検討し「広げよう 受け継ごう 交流の輪を！」に決定しました。今後、様々な場面でこの標語をご覧になることでしょうか。当協会が行ってきた全ての事業は、無償の市民ボランティアによって支えられてきた経緯があります。私たちは、先輩の皆様方が築いてこられた40年の重みを感じながら、これらを次の世代へ受け継いでいかなければならないと考えています。

「ユッキーとトリアエズアウト」による演奏

「ユッキーとトリアエズアウト」による演奏



「ユッキーとトリアエズアウト」による演奏

Enjoy!

### クリスマスパーティー

12月16日(土)に会員交流委員会によるイベント、クリスマスパーティーがサンパルネ2階のホールで開催され、100人を超える

## Welcome! イ市訪問団員

6月にイ市から当市を訪れる40周年親善訪問団員の24名を紹介します。初訪問の方が14名です。

氏名	性別		
Charles Brown	男		
Jeannae Segura Brown	女	イ市姉妹都市委員会 (JSCC) 委員長	
Roger Swick	男	JSCC委員	○
Mary Swick	女		○
Daniel Jeffries	男		
Dana Jeffries	女		
Gerald Hancock	男	JSCC委員	
Mary Hancock	女		
Robert Jones	男		○
Tina Saulsbury	女		○
Steven Spydell	男		○
Susan Smith	女		○
Brent Hancock	男		○
Deborah Miele	女		○
Nanette Bier-smith	女		○
Lisa Collins	女		○
Barbara Warnex	女		○
Gaylene Hasley	女		○
Carolyn Hinkle	女	元JSCC委員	
Peter Hahn	男	JSCC副委員長	
Tim Hahn	男		
Debra Glagola	女		○
Janet Weston	女		○
Alexandra Diehl	女	2015年訪問学生	

○は初来日者

## 東村山市国際友好協会 ~40年のあゆみ~

1978年	1月26日	姉妹都市提携調印（熊本市長ほか5名参列）
1979年	7月23日～8月8日	第1回学生派遣団訪問
1981年	5月28日	事業推進のため委員会を設ける。①派遣委員会②学生受入委員会③英会話委員会④会報委員会⑤バザー委員会⑥会員拡充委員会
	6月23日～7月20日	第1回イ市学生訪問団来訪
1984年	4月28日	トルーマン元大統領生誕百年祭及び、日本庭園起工式のため訪問
1988年	7月14日	姉妹校の提携（グレンデル小学校と回田小学校）
2005年	5月14日	会員交流・市民受入・バザーの3委員会が併し会員交流委員会に。会報委員会を広報委員会に名称変更
2008年	5月6日～12日	30周年公式訪問団イ市訪問
2013年	10月14日	市役所前の通りをインディペンデンス通りと命名

## インディペンデンス市 市民親善訪問団員募集

提携40周年を記念して市民の親善訪問を行います その団員を下記のとおり募集します

<b>日程</b>	☆Aコース（ホームステイのみ） H30年8月30日(木)～9月5日(水)の7日間 ☆Bコース（ホームステイ及びサンフランシスコ・ヨセミテ観光つき） H30年8月30日(木)～9月8日(土)の10日間
<b>募集対象</b>	市内在住・在勤の方 ※学生は除く
<b>募集人員</b>	両コースで合わせて30名 ※募集人員を超えた場合は選考があります
<b>費用</b>	☆Aコース：18万5千円（往復航空代金・消費税等込） ☆Bコース：33万8千円（往復航空代金・消費税・観光代金等込）
<b>募集要項の配布</b>	3月15日(木)から市役所 市民相談・交流課（本庁舎1階）で配布
<b>事前説明会</b>	3月20日(火) 19:30～市民センター第1会議室 3月31日(土) 14:00～ // どちらか1回必ずご出席ください
<b>申込期限</b>	4月13日(金)必着
<b>お問い合わせ</b>	市民部 市民相談・交流課（3/15発行の市報もご覧ください） ☎393-5111 内線2558・2559

る会員らが集まった。伊藤委員長の前で、渡部市長の挨拶、折笠会長の乾杯で開始。豊富な料理や飲物（無料）を楽しみながら、参加者は歓談し交流の場を持った。舞台では「セブンフレンズ」によるウクレレ合奏とフラダンス。「恋の季節」など幅広い曲の演奏。次に今年度の派遣生によるパフォーマンス、当協会の功労者東村貴美さんと佐藤公子さんのお話と続いた。次に「ユッキーとトリアエズアウト」のライブでは、谷村都議による飛び入りのドラム演奏があった。そしていよいよ「ビンゴゲーム」では、一喜一憂しながら賞品が手渡され、会場は最高に盛り上がった。最後に倉田副会長の挨拶で盛大な会員交流の会が閉められた。

### 英会話講師 ヴァネッサ・コーリー

私はこの15年間友好協会の英会話クラスで楽しく英語を教えてきました。生徒さんたちはみなフレンドリーで一生懸命勉強しています。私は彼らの熱心さと英語を身に着けようと努力する姿、そしてお互いに助け合おうとしていることにいつも感謝を受けています。

彼らのスキルが向上する様子

## やさしい英会話を通じて 市民の方と交流



### 英会話講師 ゴードン・ホワイト

私は日本に13年住んでいます。妻と子供が二人います。東京で働くことは楽しいですが、働くところを見つけるのが難しいこともあります。

東村山市で市民に英語を教えて10年になります。何年か教えていることで、この素敵な街で多くの生徒さん（住民）とお知

を見ることでとてもやりがいを感じています。何人かの生徒さんは8年近く通っています。彼らが英語でコミュニケーションをとれるようになっていくのを見ることもまた私がやりがいを感じていることです。特に、最初にクラスに来た時、ほとんど話せなかった生徒さんが今では自信をもって話しています。

クラスの構成は、高校生からリタイアされた方までバラエティに富んでいます。クラスの中で彼らが新しい友人を作っているのを見ることもまたいいものです。

私は毎週生徒さんたちに会えるのを楽しみにしていますし、彼らもクラスをエンジョイしてくれているといいなと思います。り合いになれました。

初めて日本に来た時、日本と英国の文化には多くの違いがあると気づきました。しかし、何年か経つと日本を第2の故郷として受け入れ、今では両国の文化には似たようなことが多くあると感じています。両国はともに島国であること、また世界中では小さい国ではあるが最も豊かな国であること。そして、文化や伝統や歴史や礼節に対する考え方を共有していることなどです。

英語を教えることは私にとって素晴らしい経験です。この小さな町の人々が日々グローバル化する世界で自分たちの経験を生かせることを望んでいます。

Let's

### 英会話

H29年度英会話講座の後期閉講式を3月14日(水)に行い、修了者は73名(受講生95名中)皆勤賞は21名に授与されました。

なお、H30年度前期講座は4月4日(水)に開講されます。

#### ※募集内容

- ① 初級と入門の各2クラス
  - ② 定員 1クラス25名
  - ③ 講座 1時間単位で20回
  - ④ 資格 高校生以上・当市在住者及び在勤者
  - ⑤ 講師 ゴードン・ホワイト(英) ヴァネッサ・コーリー(豪)
- 講座の詳細は3月15日付市報、協会HPをご覧ください。

英会話委員会

#### 英会話講座の受講状況

年度	2016年度		2017年度	
	前期	後期	前期	後期
前/後期				
受講者	102	108	97	95
修了者	81	92	85	73
皆勤者	22	17	21	21

### 「姉妹校だより」 姉妹校提携式から30年 〜続く姉妹都市訪問団との交流〜

回田小学校校長 曾我部多美  
回田小学校は、昭和63年7月14日の提携式で盟約を交換し、グレンデール小学校と姉妹校の第一歩を踏み出しました。あの興奮の日から30年が過ぎました。が、姉妹都市訪問団との毎年の

### 親善大使の役目を終えて

11月17日(金)市役所庁舎で市長出席のもと、第34回派遣生の解団式が行われました。

席上、代表して二人の派遣生がインディペンデンス市を訪問した感想を述べました。二人とも、東村山市とイ市との長い交流の歴史があるからこそ自分たちが温かく迎えていただき、貴重な経験ができたこと、そして支えてくれた市と友好協会の関係者に感謝していたことが印象的なスピーチでした。

派遣生がイ市滞在中の出来事やホストファミリーのことをま



とめたアルバムを市長に手渡し、最後に市長を囲んで記念撮影をいたしました。

### あの人はいま

#### 第26回派遣生 内藤 夢子

インディペンデンス市への親善訪問は、当時高校生であった私にとって、大きな自信を持つことに繋がりました。幼い頃から海外とはゆかりがあり英語も得意な方でしたが、実際に英語を道具として活用できた経験はとても貴重でした。

英語を使い、難しい内容もホストファミリーや友人たちとうまく意思疎通できたこと、スピーチでみんなを笑顔にできたこと、他の派遣生が状況を理解するためのお手伝いできたことがとても嬉しかったです。

英語は単なる学校の科目ではなく、異なる価値観を理解し合い、自分の世界を広げてくれるコミュニケーションツールなのだと思えました。

### お知らせ

◇総会  
5月19日(土)14時より市民センターにて、H30年度の総会を開催します。終了後懇親会があり40周年のお祝いを予定しています。みな様の参加をお待ちしております。

◇年会費納入のお願い  
H30年度の年会費は会員拡充委員が7月下旬よりお預かりに伺います。その際、広報紙と粗品をお届けします。

### 訃報

H30年1月26日 当協会第5代会長 関 梅四郎(96歳)氏が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。 合掌

### 編集後記

私はその後、カナダの4年制大学に進学し、卒業後現地で少し働いた後、日本に帰国しました。日本ではコンサルタントや英会話講師の仕事をし、現在は言語教授のさらなるスキルアップを目指し、勉強中です。

英語は完璧に話せる必要はありません。何かを伝えたい、何かを知りたい、という意思を持って人と接すれば、国境を越えた心と心の交流が生まれるからです。正しい文法や単語を知っているより、「広い視野を持ち多様性を理解しよう」という気持ちで自分なりの言葉や態度で表現できることの方が、何倍も大切です。

私は、今後も語学を教えることを通し、その大切さを多くの人に伝えていきたいと思っています。

### 人と人

発行：東村山市国際友好協会  
編集：広報委員会  
東村山市本町 1-2-3  
東村山市役所内  
☎393-5111 内線2558・2559  
http://www.h-ifa.com/